

明電舎と業務提携に関する契約を締結

モノづくりからサービス提供へと進化する製造業の事業価値を高める
AI インテグレーターのアジアクエストは明電舎に伴走します

アジアクエスト株式会社（本社：東京都文京区 以下、アジアクエスト）は 2025 年 11 月 7 日、株式会社 明電舎（本社：東京都品川区 以下、明電舎）と包括的な業務提携を締結しました。

アジアクエスト株式会社 ⇒ <https://www.asia-quest.jp/>

■ 契約締結概要

本契約は、アジアクエストと明電舎が、従来の委託開発という枠を超えて事業価値の向上を多角的な視点から追求し、長期的に共創していくことを目的としています。

■ 今後のアクションプラン

アジアクエストは、明電舎の共創パートナーとして、以下の実行計画を策定しています。

・**プロダクト価値向上の支援**・・・明電舎が構築するソリューション提供基盤「MEIDEN CONNECT※」

および関連するデジタルプロダクトに対し、ユーザーの立場に立った改善提案や市場価値を高める施策を共同で推進。

・**プロダクト開発・研究開発支援**・・・「MEIDEN CONNECT」などの開発支援に加え、AI などの新たな技術開発や、将来的な特許取得を見据えた取り組みに伴走。

・**組織・人材開発の共創**・・・明電舎が推進する「アジャイル型の開発アプローチ」（変化への迅速な対応と段階的な成果創出を重視した手法）を支える基盤として、両社間で人材育成や組織づくりを目的としたワークショップや、相互理解を促進する研修を継続的に実施。

今後も、双方でどのような役割を担っていくか定期的に協議しさまざまな取り組みを共創していきます。これらの取り組みを通じて、明電舎が培ってきた「社会課題解決のための技術」を基盤に、豊かな生活と社会の安全・安心の実現や、人材不足の解消といった社会課題の解決につながる価値創出と提供を共に目指します。



2025 年 11 月 7 日調印式

■ 契約締結の背景：アジャイル型の開発の内製化支援から始まり、共創パートナーへ

人材不足が深刻化する中、社会を支えるインフラを安全かつ安定的に運用していくには、現場での運用負担の軽減が求められています。

こうした課題に対し、明電舎は設備のスマート保安サービスの構築に着手しました。本サービスでは、明電舎が製造・販売する製品を導入している設備を IoT 化し、リモート監視や蓄積データの活用を行います。アジアクエストからは、お客様のビジネスとデジタル技術の両面に精通した「ビジネスエンジニア」が参画し、本サービスの開発において内製化を支援しています。これまでの支援の中で、ウォーターフォールとアジャイルを融合したハイブリッド体制の確立、プロジェクト推進における柔軟な対応力、積極的な共創の姿勢、人材育成への好影響などが高く評価され、今回の包括的な業務提携に至りました。

■ 今後の展望

アジアクエストは本提携をもとに、先端 AI 技術を製造・社会インフラの知見に掛け合わせ、スマート保安領域を筆頭に、国内の社会課題解決に資する高付加価値サービスの共同開発を強力に推進していきます。

[関連インタビュー]明電舎、コト売りに挑む 見えた従来型開発の“限界”（外部サイト）

https://special.nikkeibp.co.jp/atcl/ONB/25/asia_quest0523/

[関連事例]「構想段階から寄り添い、共に創る」明電舎のイノベーションを実現した“伴走型”開発支援

<https://www.asia-quest.jp/case/meidensha-corporation>

■ 関係者からのコメント

株式会社明電舎 常務執行役員 DX 推進本部長 宮澤 秀毅 様 コメント

アジアクエスト株式会社様は、明電舎が新規事業や新たな価値創出に挑む現場において、チームの一員として構想段階から伴走し、要件を共に具体化しながらシステム構築を支援して下さる非常に心強いパートナーです。今回の包括的業務提携契約の締結を機に、今まで以上に連携を深め、単なるシステム開発にとどまらず、共に社会課題の解決につながる価値の提供を目指してまいります。

アジアクエスト株式会社 代表取締役社長 桃井 純 コメント

これまで数々のプロジェクトを通じて、明電舎様と内製化や共創の関係を築いてきました。今回の提携は、その関係をさらに発展させ、明電舎様のデジタルプロダクトの価値向上や、新たな技術・人材育成など、より長期的な視点での価値創出に取り組むための大きな一歩です。

アジアクエストは、技術提供にとどまらず、明電舎様のビジネス課題に寄り添い、AI とデジタルの力で持続的な変革を共に実現していきます。

■ 明電舎について

会社名：株式会社明電舎

代表者：代表取締役 執行役員社長 井上 晃夫

設立：1917 年 6 月 1 日

事業内容：電力インフラや社会システム、産業モビリティ、フィールドエンジニア

リング分野向け重電機器ならびにサービスの提供

従業員数：連結 9,886 名 単独 4,153 名（2025 年 3 月 31 日現在）

URL：<https://www.meidensha.co.jp/>

■ アジアクエスト株式会社について

アジアクエストは、高度な AI 技術を核に、AIX（AI トランスフォーメーション：AI による業務変革）および DX の実現を支援する AI インテグレーターです。

AI・IoT・クラウドなど多様な技術に加え、建設・製造・小売といった各業界の知見をあわせ持つプロフェッショナル集団として、コンサルティングから設計・開発・運用、人材育成まで一貫して伴走。PoC から大規模システム構築まで、確かな実装力で応え、お客様と共に新たな価値の創出と変革を実現しています。

■ MEIDEN CONNECT とは※

MEIDEN CONNECT は、顧客・製品データを見える化・分析することで、データを蓄積するプラットフォームです。このシステムにより、スマート保安の実現、稼働率向上、最適化・効率化などを実現し、お客様のビジネス成功に貢献する新たな価値を創出するとともに、持続的な競争優位性を構築していきます。

■ AI インテグレーターとは

幅広い技術力による「デジタルインテグレーション」と、業界知見や課題理解に基づく提案力を持つ「ビジネスエンジニア」に加え、AI オーケストレーションをはじめとする高度な「AI エージェント開発」を組み合わせることで、意思決定や業務プロセスの高度化を実現するプロフェッショナル集団です。



【本件に関するお問い合わせ先】アジアクエスト株式会社 河南（カワミナミ）

TEL：(03) 6261-2701 e-mail：pressrelease@asia-quest.jp URL：<https://www.asia-quest.jp/>